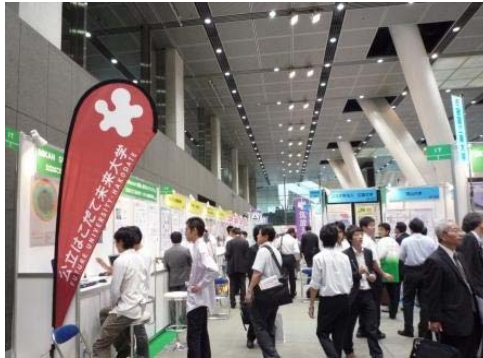


「イノベーション・ジャパン 2008－大学見本市」(東京国際フォーラム)に  
公立はこだて未来大学から研究成果紹介ブースを出展



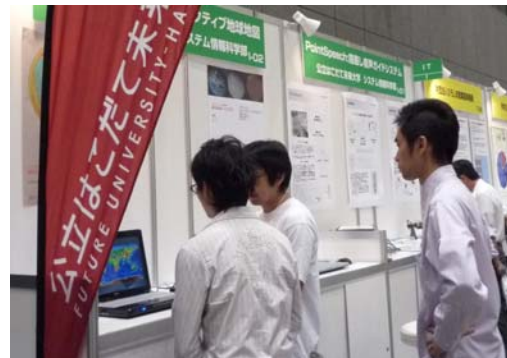
東京国際フォーラム(東京都千代田区)で、2008年9月16日(火)から18日(木)の3日間にわたって開かれた「イノベーション・ジャパン－大学見本市」に、公立はこだて未来大学から、2つの研究成果紹介ブースを出展しました。

「イノベーション・ジャパン」は、独立行政法人科学技術振興機構(JST)と独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の主催により、大学の研究成果を広く社会にPRし、産学連携や社会貢献へ結びつけていく場として、2004年から毎年開催されています。本学は昨年引き続き2度目の出展となります。

本学からは、IT分野に、「PointSpeech:指差し音声ガイドシステム」(光藤雄一助教)と、「MIKAN Globe インタラクティブ地球地図」(岡本誠教授、松山克胤助教)の、2つの研究成果を出展しました。会場には3日間でのべ4万5千人が訪れ、本学展示ブースでもたくさんの方々に、研究担当教員がデモンストレーションや説明を行いました。



左: 指差し音声ガイドについて説明する光藤(みつどう)助教



右: インタラクティブ地球地図のデモンストレーションを行う松山助教

●展示内容解説:

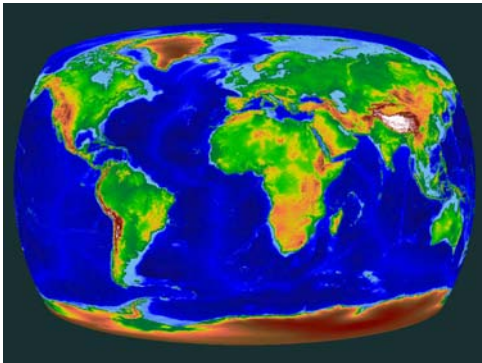
PointSpeech:指差し音声ガイドシステム

特定の光ビーコンから発せられた信号に指で干渉することで変調し、受信器で受信するシステム。この仕組みを使用することで、受光器自体が空間分解能を持たなくても光ビーコンを選択することができる。光ビーコンの選択は、レーザポインタと同じくらいの精度、速度で行うことができる。ブースでは携帯電話に取り付けるアタッチメントのデモンストレーションを実施した。



MIKAN Globe インタラクティブ地球地図

MIKAN GLOBE は、これまでの幾何空間の直接的なブラウズとは異なる新しいアルゴリズムを導入した地図ソフトウェア。技術的には、3次元の地球と2次元地図のシームレスな表示、任意の領域の比較、簡単なインターフェースという特徴をもっている。



●関連リンク

イノベーション・ジャパン オフィシャルサイト

<http://expo.nikkeibp.co.jp/innovation/index.html>

本件のお問い合わせ先  
公立大学法人 公立はこだて未来大学 共同研究センター（和久井、川口）  
Eメール: [center-ml@fun.ac.jp](mailto:center-ml@fun.ac.jp) 電話 0138-34-6520(ダイヤルイン)